

アラブの女性たちは今

公開フォーラム in 東京
「リーダーシップの達成とその成果」

日時：2009年2月1日(日) 13:30~16:30(開場 13:00)

会場：女性と仕事の未来館 4階ホール(東京・JR 田町より3分=裏面参照)

参加費：無料 / 同時通訳付き

講師

- *大森安恵氏 東京女子医科大学名誉教授
「医療における女性のリーダーシップの達成とその成果」
- *上川陽子氏 前内閣府特命担当大臣(男女共同参画・少子化担当)
「社会における女性のリーダーシップの達成とその成果」
- *ヨルダン:ナワール・ファリズ氏 放射線科開業医
- *エジプト:アージーヤ・ヘルミー氏 国家母子評議会上等顧問
- *シリア:カウカブ アルサーフ ダーエ氏 女性総連盟理事

コーディネーター

- *平敷淳子氏 国際女医会会長・埼玉医科大学名誉教授



ヨルダンのバスマ女王と一緒に

日本・アラブ女性交流事業は、国連 NGO 国内婦人委員会が外務省の委託により開始した事業で10年以上の歴史があります。今年度はヨルダン、エジプト、そしてはじめての参加国であるシリアとの三国との交流事業となりました。

主催：国連 NGO 国内婦人委員会（本年度担当団体：社団法人日本女医会）

共催：外務省、女性と仕事の未来館

お申し込み締め切り：1月23日(金曜日)

<お申し込み・問い合わせ>

社団法人日本女医会 (office@jmwa.or.jp) Tel:03-3498-0571 Fax:03-3498-8769

裏面に必要事項を記入の上 FAX またはメールでお申し込み下さい。

大森安恵氏プロフィール

1956年東京女子医科大学卒業後、1957年同第2内科入局。以後、糖尿病の臨床・研究、教育に従事。日本に於ける糖尿病と妊娠の臨床、研究分野を確立。1981年 医局長、講師、助教授を経て同糖尿病センター（第3内科）教授。この間カナダ・マクギル大学、スイス・ジュネーヴ大学に留学。1991年同糖尿病センター 所長兼主任教授。現在は東京女子医科大学 名誉教授、海老名総合病院（旧東日本循環器病院）糖尿病センター長、国際糖尿病連合と国連のUnite for Diabetes キャンペーンの活動委員。1991年、女性ではじめて第40回 糖尿病学会年次学術集会会長を務める。糖尿病に関する研究論文、著書多数。最近「糖尿病と妊娠の医学」を出版。日本女医会吉岡弥生賞、2008年には米国からサンサム科学賞など受賞。

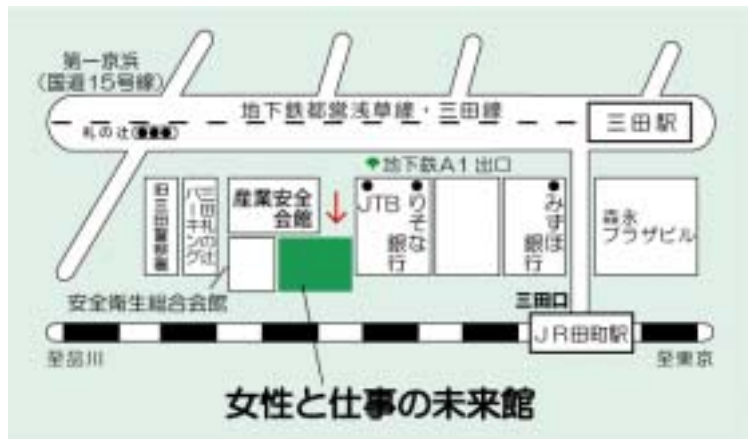
上川陽子氏プロフィール

1953年静岡市生まれ。1977年東京大学教養学部教養学科（国際関係論専攻）卒業後、三菱総合研究所研究員を経て、ハーバード大学大学院ケネディスクール（政治行政学修士課程）へ留学。渡米中、米国上院議員政策立案スタッフとして活動し、帰国後、政策コンサルティング会社を設立、代表取締役就任。2000年衆議院総選挙にて初当選（静岡1区）。自民党女性局長、総務大臣政務官、内閣府特命担当大臣（少子化対策、男女共同参画、青少年育成、食育）・公文書管理担当大臣を歴任。現在、厚生労働委員会理事、自民党青少年特別委員会委員長など、3期目。

平敷淳子氏プロフィール

1964年東京女子医科大学卒業後、立川米国空軍病院およびノースウエスタン大学エヴァンスト病院でインターン。1966年ジョンズ・ホプキンス病院放射線科にレジデント。その後群馬大学医学部放射線医学教室、ジョンズ・ホプキンス病院放射線科 Assistant Professor、群馬大学医学部放射線医学部助教授を経て、1987-2006年埼玉医科大学放射線医学主任教授。現在は国際女医会会長、埼玉医科大学名誉教授、鳥取大学客員教授、国際磁気共鳴医学会 fellow、ドイツ放射線医学会名誉会員。日本女医会吉岡弥生賞、第1回埼玉輝き荻野吟子賞など受賞

<会場へのアクセス>



交通機関の案内

- ・ JR 田町駅三田口（西口）から徒歩3分
- ・ 地下鉄（都営浅草線、都営三田線）三田駅 A2 出口から徒歩2分
（A1 出口は、日曜日閉鎖）

女性と仕事の未来館

〒108-0014 東京都港区芝 5-35-3
Tel: 03-5444-4151 Fax: 03-5444-4252
URL <http://www.miraikan.go.jp>

きりとり

申込先： 社団法人日本女医会事務局 FAX: 03-3498-8769
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-8-7 青山宮野ビル 3F ☎: 03-3498-0571

ふりがな
お名前

Tel: _____ Fax: _____ e-mail: _____

申込先: (社)日本女医会事務局
FAX: 03-3498-8769